

地域保健

7

2019

●特集

災害時に配慮を要する 在宅療養者への支援

—難病等で医療的ケアが必要な人を中心に—





イラストレーター・
スズキトモコ
主なお仕事は、
絵本、教材、
旅行ガイドブック、
広告など。
雑誌も制作販売中。
<http://www.tomo-com.com>

6

【特集】

災害時に配慮を要する在宅療養者への支援

—難病等で医療的ケアが必要な人を中心に

- 8 【概論】災害時の難病支援等における保健活動
—医療的ケアを必要とする在宅難病患者への災害時の自治体の保健師に求められる役割
奥田博子（国立保健医療科学院）
- 12 在宅支援について
山村 修（福井大学医学部）
- 17 人工呼吸器等の電源確保
滝口尚子（国立病院機構仙台西多賀病院）
- 20 在宅人工呼吸器使用者の安全な移送・搬送
大竹しのぶ（練馬区医師会訪問看護ステーション）
- 24 医療的ケア児に対する災害対応サポートハンドブック
長谷美穂ほか（兵庫県東播磨県民局加古川健康福祉事務所〈保健所〉）
- 28 医療機関が被災した場合の対応 —東日本大震災の経験から見えてきたこと
新家利一（いわき市保健所）、空岡史子（いわき市こどもみらい部）
- 32 ALS 等の災害時要援護者をモデルとした災害避難訓練を実施、検証
青木良浩、西尾朋浩（一般社団法人日本 ALS 協会）
- 36 災害時に備えるコミュニケーション方法の確保
中野玄三（合同会社メティエ）
- 40 豪雨災害と保健活動 —岡山県の聞き取り調査から見えてきたこと
山本実季（岡山県保健福祉部）
- 43 難病患者の防災対策と台風による停電への対応 —和歌山市保健所の取り組み
谷井朋子（和歌山市保健所）
- 48 関係機関と連携した個別支援計画の策定に向けて—茅ヶ崎市保健所の取り組み
井上郁子ほか（茅ヶ崎市保健所）

② ひよこ、ホップ、ステップ、ジャンプ! ▶ 吉原大貴さん（松江市健康推進課地域保健グループ〈南〉）

⑥4 ピープル ▶ 横山万里子さん（一般社団法人 ハンドスタンプアートプロジェクト代表）

⑦0 レポート ▶ 平成 31 年度保健師中央会議

⑨2 情報BOX

⑨6 次号予告／奥付

連 載

⑤4 いのちに向き合う《第2回》／浜垣誠司

⑤6 生活習慣を変えるコミュニケーション技術
《第2回》／磯村 毅

⑤8 罪を犯した人の生活と健康支援《第2回》／船山健二

⑥0 虐待予防は母子保健から《第2回》／鷺山拓男

⑥8 ESSAY 国際保健《第32回》／松田正己

⑧4 保健師のための閑話ケア《第83回》／藤本裕明

⑧8 中臣さんの環境衛生ウォッチング《第68回》／中臣昌広

ひよこ

ホップ

ステップ

ジャンプ!



持ち前の明るい笑顔で、すがすがしい青空に向かってジャンプ！

吉原大貴さん

よしはら・だいき

● 松江市健康推進課地域保健グループ（南）

大好きだった祖父が倒れたことをきっかけに、地域に貢献できる仕事として保健師になりました。どの部署に配属されても住民に信頼されることが目標です！



文＝白井美樹（ライター） 写真＝神保 誠

災害時に配慮を要する 在宅療養者への支援

難病等で医療的ケアが必要な人を中心に

毎年のように地震や豪雨などの自然災害が発生している。災害時、保健師には一般の住民の健康支援に加え、在宅療養者や障害者など配慮を要する人たちへの対応が求められる。

今号は、災害時に難病等で医療的ケアが必要な人を主な対象として、保健師がどのような活動をすればよいかをまとめた。



-
- P 8** 【概論】 災害時の難病支援等における保健活動
—医療的ケアを必要とする在宅難病患者への災害時の自治体の保健師に求められる役割
◎奥田博子（国立保健医療科学院）
-
- P12** 在宅支援について
◎山村 修（福井大学医学部）
-
- P17** 人工呼吸器等の電源確保
◎滝口尚子（国立病院機構仙台西多賀病院）
-
- P20** 在宅人工呼吸器使用者の安全な移送・搬送
◎大竹しのぶ（練馬区医師会訪問看護ステーション）
-
- P24** 医療的ケア児に対する災害対応サポートハンドブック
◎長谷美穂ほか（兵庫県東播磨県民局加古川健康福祉事務所〈保健所〉）
-
- P28** 医療機関が被災した場合の対応 —東日本大震災の経験から見えてきたこと
◎空岡史子（いわき市こどもみらい部）
-
- P32** ALS 等の災害時要援護者をモデルとした災害避難訓練を実施、検証
◎青木良浩、西尾朋浩（一般社団法人日本 ALS 協会）
-
- P36** 災害時に備えるコミュニケーション方法の確保
◎中野玄三（合同会社メティエ）
-
- P40** 豪雨災害と保健活動 —岡山県の聞き取り調査から見えてきたこと
◎山本実季（岡山県保健福祉部）
-
- P43** 難病患者の防災対策と台風による停電への対応
—和歌山市保健所の取り組み
◎谷井朋子（和歌山市保健所）
-
- P48** 関係機関と連携した個別支援計画の策定に向けて
—茅ヶ崎市保健所の取り組み
◎井上郁子ほか（茅ヶ崎市保健所）
-



横山万里子さん

●一般社団法人ハンドスタンパアートプロジェクト代表

誰でも参加できる手形アートで 東京2020パラリンピックを応援したい！

壮大な目標を掲げ、病気や障害を抱える子どもたち、応援する人たちの手形を集め、その理念を多くの人たちに伝えるべく活動する人たちがいる。2014（平成26）年からスタートしたハンドスタンパアートプロジェクト。現在、集めた手形の総数は6万2千枚を超えている。代表の横山万里子さんに、活動の目的とこれからについて話を聞いた。

●取材・文……………太田美由紀（ライター）

病院のベッドからでも 遠い国からでも参加できる

「病院のベッドにいても、遠く離れた国に住んでいても、誰でも参加できます。手で押すことが難しければ、足でもほつぺでもかまいません。ハンドスタンパの数だけ、一生懸命生きている子どもたちがいて、家族の愛があり、それを応援する人たちがいる。天使になった子どもたちでも、手形があれば参加できます。それを巨大なモザイクアートにして、目に見える形にし、みんな

なでパラリンピックに参加することを目標として活動しています」

ハンドスタンパアートプロジェクトの代表である横山万里子さんの長男、潤ノ助くんは、大田原症候群という難病を抱えて誕生した。重度のてんかんや痙攣を頻繁に起こす指定難病だ。国内の患者数は100人に満たず、薬が効かないことが多く、発達に遅れが生じる。家族で共に過ごせたのは5年だった。

「産後、最初に痙攣を起こしたときは新生児痙攣と言われたのですが、さらに痙攣が

ひどくなつて転院し、2週間くらいしてようやく大田原症候群だと診断されました。ほぼ1年は入院していたので、私もほとんど病院で付き添って過ごしました」

珍しい難病で、一般の病院では看護師も小児科医も病名さえ知らないことが多かった。ネットで病名を検索しても、情報はほとんど出てこない。退院後は、一体どこでどんな手続きをして、誰に何を相談すればいいかも全く分からなかったという。

退院後に肺炎で急きょ入院した一般の病院では、病気のことを知らない看護師から

特集

性暴力被害者への支援 ～現状と課題～

●暴力と健康、犯罪被害問題を看護の知につなぐ SANE養成の取り組み
加納尚美（茨城県立医療大学・日本フォレンジック看護学会）

●地方公共団体における犯罪被害者支援総合対応窓口調査報告
大岡由佳（武庫川女子大学）

●母子保健・乳幼児健診の現場から見えること
山田典子（日本赤十字秋田看護大学）

●サイコロジカル・ファーストエイドは保健師活動の基本
大澤智子（兵庫県こころのケアセンター）

●知的障害者の性被害・性加害 船山健二（新潟県立看護大学）

●女性だけではない性暴力の被害者（男性や性的マイノリティの方の例）
日高庸晴（宝塚大学）

●性犯罪を起こす心理とは 齊藤章佳（大森榎本クリニック）

●【事例】ワンストップセンターなごみ 長江美代子（日本福祉大学）

●【事例】犯罪被害者支援の窓口から 稲吉久乃（中野区）

●【事例】性暴力の被害者・加害者を生まないための予防活動
小葉松洋子（湯の川女性クリニック）

ひよこ、ホップ、ステップ、ジャンプ！ 笹恵未さん・槻木由果さん・齋藤南さん（山形県長井市）

ピープル 橘ジュンさん（NPO 法人 BOND プロジェクト）

※変更になる場合がございますので、ご了承ください。

地域保健

令和元年 7 月号

令和元年 7 月 1 日発行／隔月（奇数月）1 回 1 日発行
発行人 菅 国典
制作・発行 〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-29-22
株式会社 東京法規出版
振替 00160-1-371595

【購読の申し込み】 TEL 03-5977-0300
FAX 03-5977-0385
ウェブ www.chiikihoken.net

【内容の問い合わせ】 TEL 03-5977-0353 E-mail chiikihoken@tkhs.co.jp

◎表紙・本文デザイン＝新海妙子
◎印刷・製本＝（株）上野印刷所
◎編集長＝須賀健次
◎編集員＝松岡康子

本誌に掲載された著作物の
複写・転載等の許諾権は、
株式会社東京法規出版が保
有しています。